

# 令和2年度 農作物病虫害発生予察10月月報

令和2年(2020年)11月2日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	21.1	19.9	1.2	26.6	25.2	1.4	16.5	15.4	1.1
10.2	20.0	19.0	1.0	25.7	24.5	1.2	15.8	14.4	1.4
10.3	19.5	18.1	1.4	25.2	23.8	1.4	15.0	13.3	1.7
10.4	16.7	16.9	△ 0.2	23.7	22.9	0.8	11.9	12.0	△ 0.1
10.5	15.4	15.7	△ 0.3	20.8	21.8	△ 1.0	9.9	10.7	△ 0.8
10.6	14.5	14.8	△ 0.3	22.0	20.8	1.2	8.6	9.8	△ 1.2
平均・計	17.9	17.4	0.5	24.0	23.2	0.8	13.0	12.6	0.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
10.1	0.0	20.0	△ 20.0	32.3	26.5	5.8			
10.2	0.0	16.0	△ 16.0	28.0	27.2	0.8			
10.3	0.0	13.6	△ 13.6	40.3	28.8	11.5			
10.4	8.0	12.1	△ 4.1	32.9	29.9	3.0			
10.5	75.5	11.1	64.4	32.8	29.2	3.6			
10.6	0.0	14.1	△ 14.1	46.5	33.3	13.2			
平均・計	83.5	86.9	△ 3.4	212.8	174.9	37.9			

## II 作物の生育状況

- (1)カンキツ : 果実肥大は、9月以降定期的に降雨があり、平年並みからやや大きく、糖度、酸度は平年並みからやや低い。裏年のため、極早生の出荷量は少ない。
- (2)キャベツ : 一部において定植後の少雨により、生育停滞、小玉化が懸念される。
- (3)イチゴ : 主力品種の「かおり野」の開花はじめは10月中旬から下旬頃で平年よりやや遅く、出荷開始は11月中旬から下旬の見込みである。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 果樹

2020年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ (調査ほ場数：20) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平年96.0%)、発病果率44.3%(平年 59.3%)、発病度10.9(平年17.2)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	中 少 計	169 958 1,127
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年14.0%)、発病果率0.9%(平年 1.0%)、発病度0.3(平年0.4)で平年並み であった。	県内全域	少	113
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年25.0%)、寄生葉率6.8%(平年 3.2%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 中 少	56 56 113 225
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年2.5%)、被害果率0.1%(平年 0.3%)で平年並みであった。	県内全域	少	56
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年21.3%)、寄生果率1.0%(平年 0.8%)で平年並みであった。	県内全域	中 少 計	113 56 169
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年8.8%)、被害果率0.1%(平年 0.6%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	56
ヤノネカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.1%)で平年並みであった。	—	—	—
イセリアカイガ ラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.1%)で平年並みであった。	—	—	—
ミカンバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.0%)で平年並みであった。	—	—	—
果樹全般 カメムシ類(チャ バネアオカメム シ、ツヤアオカメ ムシ、クサギカメ ムシ)	9月26日～10月25日の予察灯(5か所計)に おける誘殺数は18頭(平年201頭)で平年 に比べやや少なかった。優占種はツヤア オカメムシであった。	県内全域	—	—

#### 2 野菜

キャベツ (調査ほ場数：中旬11、 下旬12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.7%)、発病株率0%(平年0.1%)、発 病度0(平年0.0)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—	—
--------------------------------------	---	---	---	---

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年0%)、発病株率0.2%(平年 0%)、発病度0.0(平年0)で平年に比 べ多かった。	県内全域	少	15
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—	—
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率90.9% (平年36.7%)、寄生株率6.0%(平年 2.2%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年37.5%)、寄生株率3.8%(平年 1.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少 計	30 119 149
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年10.1%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年19.2%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭)で平年に比べやや少な かった。	県内全域	少	59
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% (平年24.2%)、寄生株率1.6%(平年 1.6%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年27.5%)、寄生株率0.8%(平年 2.4%)で平年並みであった。	県内全域	中 少 計	15 74 89
ハイマダラノメイ ガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.8%)、寄生株率0%(平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	—
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年16.7%)、寄生株率0.4%(平年 1.1%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年15.0%)、寄生株率0.5%(平年 0.6%)で平年並みであった。	県内全域	少	30
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年11.1%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年8.3%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭)で平年並みであった。	県内全域	少	30

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年 5.9%）、寄生株率0%（平年0.4%） で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% （平年4.2%）、寄生株率0.3%（平年 0.3%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	30
シロイチモジヨト ウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年 6.9%）、寄生株率0%（平年0.2%） で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% （平年8.3%）、寄生株率0.2%（平年 0.4%）で平年並みであった。	県内全域	少	15
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% （平年22.3%）、寄生株率2.4%（平年 2.2%）で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% （平年25.9%）、寄生株率1.7%（平年 1.9%）で平年並みであった。 主要種はニセダイコンアブラムシであっ た。	県内全域	少	89
夏秋ナス （調査ほ場数:3） ハダニ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% （平年40.0%）、寄生葉率1.0%（平年 11.0%）で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	45
アザミウマ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年12.9%）、寄生葉率0%（平年0.3%） で平年並みであった。	—	—	—
イチゴ （調査ほ場数:20、 果実調査ほ場数:0） うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% （平年21.5%）、発病株率2.2%（平年 6.0%）、発病葉率1.0%（平年3.3%）で平 年並みであった。	県内全域	中 少 計	5 10 15
炭そ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% （前年0%）、発病株率0.0%（前年0%）で あった。	県内全域	少	5
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% （平年2.5%）、発病株率0.7%（平年 0.2%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少	15
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0% （平年26.5%）、寄生株率9.6%（平年 4.0%）で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 中 少 計	5 5 36 46

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																		
イチゴ ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年11.4%)、寄生株率0.2%(平年 0.4%)で平年並みであった。	県内全域	少 10																		
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年3.0%)、寄生株率0.1%(平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	少 5																		
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年21.5%)、寄生株率17.4%(平年 5.6%)で平年に比べ多かった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	多 15 中 5 少 31 計 51																		
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年18.4%)、寄生株率0%(平年2.3%)で平 年に比べ少なかった。	—	—																		
アザミウマ類 (調査ほ場数：10)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年6.7%)、寄生花率0.3%(平年 0.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 5																		
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる10 月の誘殺数は、206頭(平年111頭)で平年 に比べやや多かった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる 10月の誘殺数は、1,055頭(平年2,373頭) で平年に比べ少なかった。 県内他地点の誘殺数は下記のとおり。 <u>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,087</td> <td>3,094</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>428</td> <td>524</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>32</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,594</td> <td>1,622</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,968</td> <td>1,543</td> </tr> </tbody> </table> ※9月21日～10月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	1,087	3,094	山口市阿東	428	524	萩市明木	32	178	下関市清末	1,594	1,622	柳井市伊陸	1,968	1,543	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	1,087	3,094																			
山口市阿東	428	524																			
萩市明木	32	178																			
下関市清末	1,594	1,622																			
柳井市伊陸	1,968	1,543																			
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる 10月の誘殺数は、157頭(平年103頭)で平 年に比べやや多かった。	県内全域	—																		
シロイチモンジヨト ウ	山口市大内のフェロモントラップによる 10月の誘殺数は、5頭(平年17頭)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	—																		

注) 上表の発生面積は、当該病害虫による実際の被害面積とは異なります。

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所 TEL (083)927-4006 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp
---